



2021年7月16日(計2枚)
日本女子大学

学校法人日本女子大学 JWU PR アンバサダー

マーケティング・リサーチチームによるコロナワクチン接種意識調査アンケート結果(別紙)

コロナワクチン接種に関する調査を公表 77%の学生が接種に前向き

学校法人日本女子大学が立ち上げた JWU PR アンバサダーはその活動の一環として、等身大の学生の声を学生目線で発信することを目的に、主に本学学生の意識調査を実施していきます。第一回は新型コロナウイルスワクチン接種について、等身大の学生の声を調査しました。

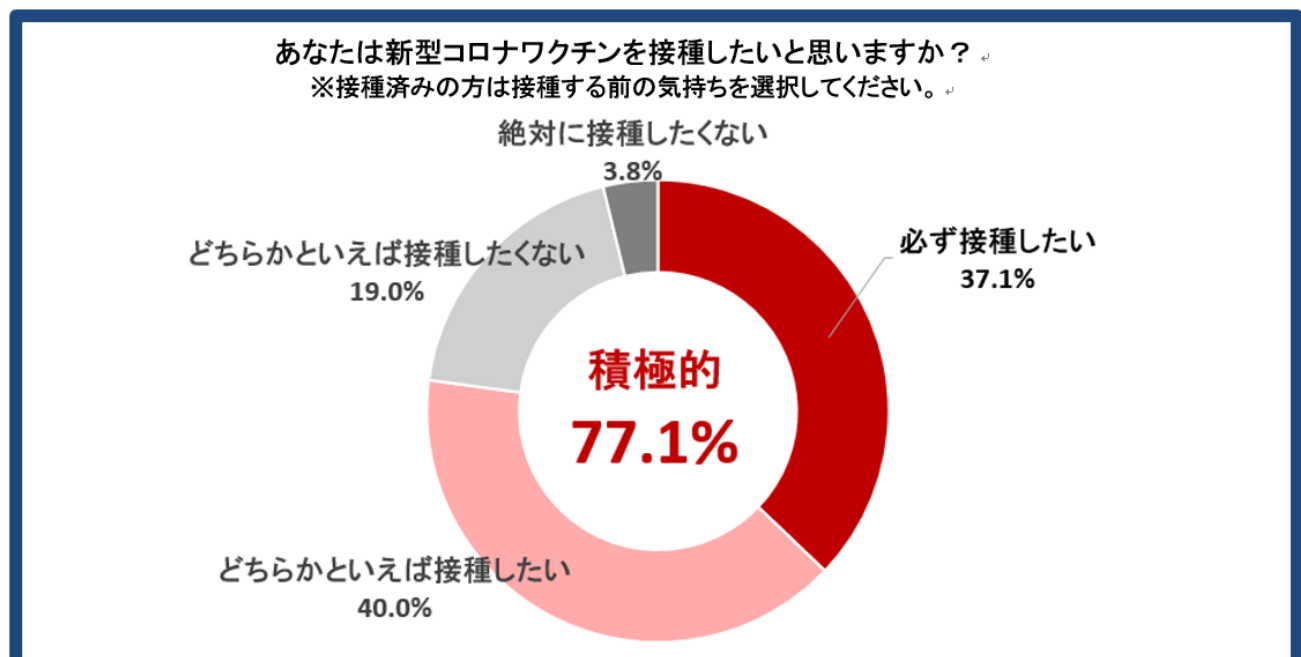
本調査は JWU PR アンバサダーの学生を対象として7月8日に調査を行い、2日間のアンケートで105人から有効回答を得ました。

結果は、コロナワクチンを「必ず接種したい」37.1%、「どちらかと言えば接種したい」40.0%と計77.1%の学生がワクチン接種に積極的であり、世帯別で見るとワクチン接種に積極的な学生の割合は一人暮らしでは72.2%、実家暮らしでは78.2%と、実家暮らしの学生がよりワクチン接種に積極的であることが判明しました。

「どちらかと言えば接種したくない」「絶対に接種したくない」と回答した学生の理由(複数回答可)は、「副反応が不安」91.7%、「ワクチンの効果・安全性に疑問を感じる」75.0%となり、ワクチン接種後に不安を抱えていることが分かりました。感染拡大が終息したら国内外への旅行を希望する声が最も多く、次に友人との外出(イベント、カラオケ、ショッピング等)という結果となり、学生たちは旅行や外出などを控えている現状が分かりました。

計 77.1%の学生がワクチン接種に積極的であることが判明

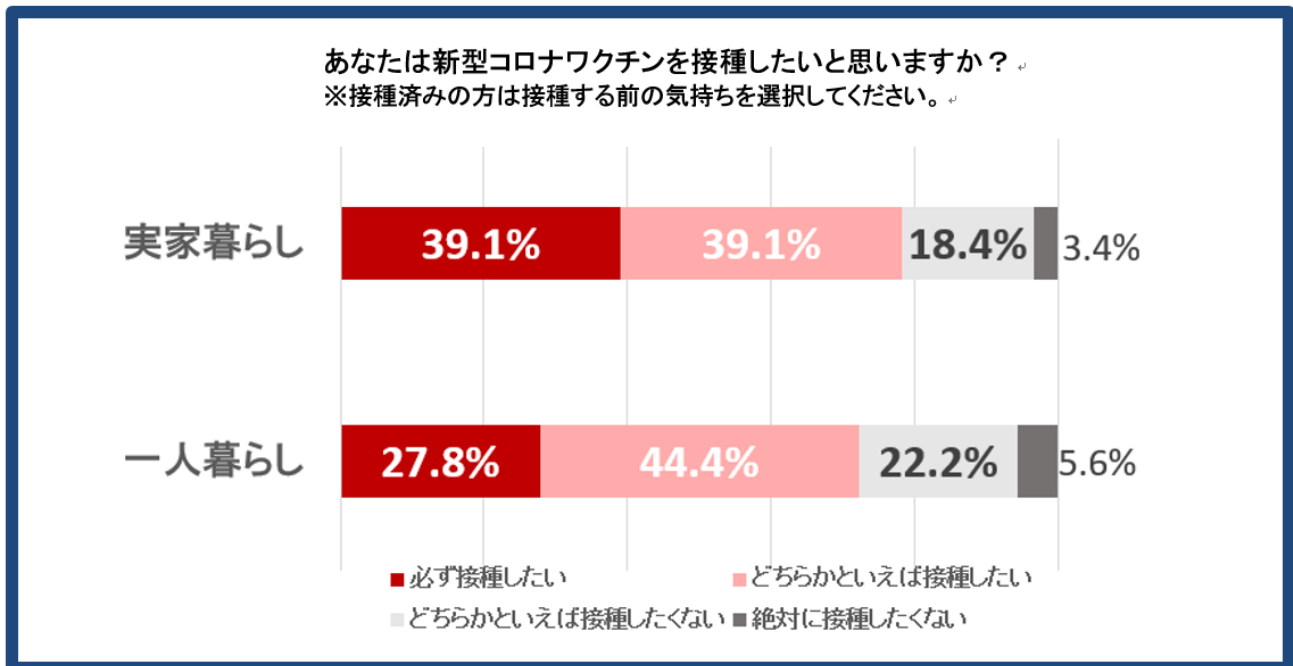
コロナワクチンに対して、「必ず接種したい」37.1%、「どちらかと言えば接種したい」40.0%、「どちらかといえば接種したくない」19.0%、「絶対に接種したくない」3.8%と計77.1%の学生がワクチン接種に積極的であることが判明しました。





実家暮らしの方が、一人暮らしよりもワクチン接種に積極的

世帯別でみるとワクチン接種に積極的な学生の割合は実家暮らしでは 78.2%、一人暮らしでは 72.2%で実家暮らしの学生がよりワクチン接種に積極的であることが分かりました。（実家暮らし:87 名 一人暮らし:18 名）



コロナワクチン接種に消極的な理由は、「副反応が不安」は 91.7%

コロナワクチン接種を「どちらかといえば接種したくない」、「絶対に接種したくない」とする理由(複数回答可)は「副反応が怖い」91.7%、「ワクチンの効果・安全性に疑問を感じる」75%、「接種場所での感染リスクがある」4.1%、「その他」8.3%とワクチン接種後に不安を抱いていることがわかりました。

新型コロナの感染拡大が終息したら、約 9 割の学生が国内外への旅行を希望

新型コロナの感染拡大が終息したら、希望することとして、「国内外への旅行」90.0%、「友人との外出(イベント、カラオケ、ショッピング等)」79.0%、「外食・会食」60%となりました。「その他」4.8%には、ライブで大きな声をだしたい、マスク無しでの生活をしたいという声が挙げられました。

調査方法:インターネット調査

調査対象:JWU PR アンバサダー131 名

回収数 :105 名

調査時期:2021 年 7 月 8 日~7 月 9 日

調査項目: コロナウイルスワクチン接種希望、理由、学年、世帯、コロナ終息後の望みなど 9 問